

ぐんま子ども会



発行：公益社団法人 群馬県子ども会育成連合会 令和6年3月20日
〒371-0044 前橋市荒牧町2-12 群馬県青少年会館内
TEL 027(233)4118 FAX 027(212)6226 E-mail kenkoren@xb3.so-net.ne.jp

第112号



第75回上毛かるた競技県大会

Contents

関口利美会長あいさつ……………	2	子ども会郷土芸能伝承発表会……………	5
県子連の主な研修会		作文コンクール優秀賞……………	5
子ども会安全啓発 (KYT含む) 初級指導者養成講習会…	3	県子連表彰……………	6
群馬県子ども会育成関係者研究協議会 ……	3	市町村の活動紹介コーナー……………	7~9
子ども会指導者等講習会 ……	3	上毛かるた競技県大会……………	10
県子連ジュニアリーダー研修会……………	4	令和6年度の主な行事・編集後記……………	12

ポストコロナの子ども会活動

(公社)群馬県子ども会育成連合会

会長 関 口 利 美



皆様には日頃より本会の諸事業にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

おかげ様で令和5年度の事業も、過日の第75回「上毛かるた」競技県大会の実施をもって計画どおり終えることができました。

さて、これまでの3年余り、コロナ禍により活動の自粛を求められ、停滞していた社会も、昨年5月の5類移行により、いよいよポストコロナの時代に入りました。

しかしながら、市町村子連の役員さん方のお話を伺うと、多くの子ども会

が現在もコロナ前の活動に戻ることはなく、厳しい状況に置かれているとのことでした。

県子連としても、このような状況を打破するために何を為すべきか、何ができるのかを真剣に考えていきたいと思っています。

昨今、自立した大人に成長するためには協調性や積極性などの非認知能力を身につけることが極めて重要であることが叫ばれています。

また、これらの能力は多様な人と交流しながら様々な体験を通して身に付けられるものであるともいわれ

ています。

このことは、子ども達の直接体験を通しての成長を支えていくことを目標とする我々の存在意義に直結するものであると考えます。

少子化や子どもを取り巻く環境の変化など子ども会にとっては逆風の吹く中ではありますが、未来を担う子ども達の健やかな成長のために、**順風満帆**ならぬ**逆風満帆**を目指し、皆様と手を携えて一歩一歩進んでいきたいと思えます。

皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

子ども会安全啓発(KYT含む)初級指導者養成講習会

令和5年5月28日(日)



群馬県子ども会育成関係者研究協議会

令和5年9月3日(日)



子ども会指導者等講習会

令和5年10月28日(土)

11月25日(土)~26日(日)



令和五年度
県子連の主な研修会

県子連ジュニアリーダー研修会（新規事業）

県内で活動するジュニアリーダーの資質向上と交流を図るために7月14日～15日の二日間、太田市の東毛少年自然の家で研修会を実施しました。ユースリーダーの指導の下、楽しく有意義な研修会となりました。

この研修会は、来年度も実施予定です。多くのジュニアリーダー世代が参加してくれることを願っています。



ジュニアリーダー研修会へ参加して

（太田リーダークラブ）

ジュニアリーダー研修会に参加して、多くの方が私たちの活動を支えてくださっていることを学んだ。雨でキャンプファイヤーができなくなった時に、ユースリーダーの方々が素早く対応してくださったので、キャンドルファイヤーを楽しむことができた。野外炊事やレクなどのその他の活動でも、ユースリーダーをはじめ多くの人のおかげで活動することができたと改めて感じている。今後も感謝の気持ちを持って活動したい。

また、他の地区のリーダークラブとの違いにも気づくことができた。太田リーダークラブは、伊勢崎や大泉と異なり、高校生になつてからの入会となっている。これにより、他の地区に比べ、連帯感はあるが、レクなどの習得が忙しくなっているということに気づいた。今後も他の地区と情報を共有し、より良い活動ができるようにしたい。キャンプやレクの技術を向上させることもでき、ジュニアリーダーとして成長できた2日間だった。

● 子ども会郷土芸能伝承発表会 ●



大間々東小地区子ども会による「大間々八木節」演奏

● 令和5年度 第29回子ども会活動体験作文コンクール ●

今年度の子ども会活動体験作文コンクールには、昨年を上回る375名の皆様からの応募がありました。慎重審査の結果、下記の15作品が優秀賞となりました。

優 秀 賞

No.	題 名	氏 名	学年	市町村	所属会名
1	はじめてかついだおみこし	よこた 横田くるみ	小1	高崎市	観音寺東子ども会
2	たのしかったスポーツレク	なかざわ 中澤りさ りさ 里咲	小2	伊勢崎市	あずま地区西国定町下区子ども会
3	フラワーコミュニティにさんかして	あゆみ 黛こうき こうき 幸輝	小2	富岡市	丹生地区子ども会
4	はじめてのおまつり	あかお 赤尾げんや げんや 弦哉	小3	前橋市	東地区新前橋町子ども会
5	家族で参加する廃品回収	こばやし 小林みづき みづき 聖月	小3	富岡市	丹生地区子ども会
6	まちにまったのうりょう祭	こぐれ 小暮かほ かほ 香穂	小4	前橋市	筑井町子ども会
7	日本でさいしょの富岡せい糸	たかやなぎ 高柳みはる みはる 美晴	小4	富岡市	小野地区桑原子ども会
8	子ども会のイベントに参加して	よしだ 吉田しょうま しょうま 翔海	小5	前橋市	西大室町子ども会
9	子ども会活動について	たかはし 高橋あんず あんず 杏寿	小5	安中市	磯部地区若竹子ども会
10	ぼくの子ども会活動	おおさわ 大沢つむぎ つむぎ 紬生	小6	高崎市	観音寺子ども会
11	リーダー研修で学んだこと	かわばた 河端みつき みつき 美月	小6	伊勢崎市	豊受地区富塚町子ども会
12	子ども会活動について思うこと	そりまち 反町りょうた りょうた 亮太	小6	渋川市	真壁下子ども会
13	地域の伝統をつなぐ	ふくだ 福田あやな あやな 彩七	中2	伊勢崎市	赤堀地区ジュニアリーダー
14	念願だった「魚釣り」	よごう 余郷はるき はるき 遙紀	中3	前橋市	大手町二丁目子ども会
15	有言実行ー小学生と夢のコラボー	すわ 諏訪てつお てつお 哲生	中3	伊勢崎市	赤堀地区ジュニアリーダー



受賞者の皆さん

● 令和5年度 群馬県子連表彰 ●

長年にわたって活動をし、多くの成果を上げている子ども会10団体、ジュニア組織2団体、育成組織9団体、指導者・育成者16名が、県子連会長表彰を受表彰されました。皆様方の日頃からの取り組みに対し敬意を表します。

■子ども会 10団体

団体名	住所	活動年数
今宮子ども会	高崎市箕郷町生原	45年
下芝子ども会	高崎市箕郷町上芝	38年
新三琴平子ども会	桐生市新宿	11年
伊勢崎市宮郷地区 田中島町子ども会	伊勢崎市田中島町	51年
大原五区子ども会	太田市大原	62年
南新井町2・5丁目子ども会	太田市新井町	73年
福沢子ども会	太田市福沢町	44年
上沼須町子ども会	沼田市上沼須町	40年
宮本町子ども会	藤岡市中栗須	39年
臼井子ども会	安中市松井田町横川	51年



■ジュニア組織 2団体

団体名	住所	活動年数
名和ジュニアリーダーズクラブ	伊勢崎市堀口町	62年
境リーダーズクラブ (SLC)	伊勢崎市境	9年

■指導者・育成者 16名

氏名	住所	活動年数
角田 修一	前橋市箱田町	12年
須賀 洋子	前橋市天川大島町	5年
原 孝洋	高崎市中室田町	6年
前原 敬之	桐生市東久方町	69年
中村 悦夫	桐生市相生町	14年
大谷 哲也	伊勢崎市末広町	14年
後藤 弘幸	伊勢崎市波志江町	17年
富谷 知範	沼田市栄町	8年

氏名	住所	活動年数
和田日登美	渋川市伊香保町伊香保	11年
相馬 武市	藤岡市中栗須	17年
山内 隆之	富岡市後賀	5年
佐竹 雅俊	安中市松井田町横川	10年
新井 克幸	みどり市大間々町大間々	24年
金子 勝	みどり市大間々町大間々	19年
中島 裕治	みどり市大間々町大間々	15年
萩原 和美	多野郡神流町大字魚尾	11年

■育成組織 9団体

団体名	住所	活動年数
城東校区子ども会育成団体連絡協議会	高崎市栄町	69年
六郷校区子ども会育成団体連絡協議会	高崎市筑縄町	63年
新高尾校区子ども会育成団体連絡協議会	高崎市日高町	43年
南地区子ども会育成団体連合会	桐生市浜松町	65年
菱地区子ども会育成団体連絡協議会	桐生市菱町	63年
本町2区子ども会育成会	伊勢崎市本町	53年
三ツ橋町子ども会育成会	伊勢崎市馬見塚町	34年
上耕地子ども会育成会	安中市下間仁田	56年
泉子ども会育成会	安中市磯部	39年

■全子連表彰伝達 2名

氏名	住所
小尾 清	沼田市
森 昌子	高崎市

● 感謝状贈呈 ●

■群馬県子連 感謝状 1名

氏名	住所
大塚 美喜雄 (前上毛かるた公認審判部長)	安中市

市町村の活動紹介コーナー

市町村子連では、子ども達の育成に向けて、それぞれの地域の特徴に応じた創意と工夫ある取り組みをしています。今回は3町村子連から取り組み状況の報告をいただきましたので、ご紹介します。

未来を明るく照らす

子ども達の底力

甘楽町子ども会育成会連絡協議会

会長 金田 舞

コロナ禍となり早4年、感染症と共存しつつも出来る行事は皆で楽しく行うという意識と共に、令和5年度の甘楽町子育連事業がスタートしました。甘楽町子育連は3地区22単位の子ども会で構成され、3地区はそれぞれの事情を抱えながらも協力し一年間を過ごして参りました。その一例が甘楽町子育連事業「パワフル子ども会」です。この会は、甘楽町3地区の子育連が協力し、行事を成し遂げる町内地区の垣根を越えた児童交流の一環から始まった事業です。今年度は3班に分かれ、それぞれ

の催物を約半年に渡って準備し10月に開催しました。途中、紆余曲折は有りながらも、会当日の実行役員である6年生達の臨機応変な頼もしい行動力に感心し、また来場参加してくれた児童達の楽しそうな姿も大変印象深く、制限された社会状況を経験した子ども達ならではの強さ、それはまさに未来を明るく照らす子ども達の底力を感じた大変嬉しい行事となりました。今後も様々な子育連事業により子ども達の健全やかな成長を見守りたいと思います。



3年ぶりの子育連行事

榛東村子ども会育成会連絡協議会

会長 高橋 加奈子

榛東村子ども会育成会連絡協議

会（以下、榛東村子育連）は、昭

和35年に発足した長い歴史をもつ

協議会です。2小学校21単位子ど

も会で構成され、現在600名を

超える加盟児童、200名を超え

る加盟指導者がいます。

令和5年5月に新型コロナウイルス

感染症の5類移行に伴い、各

種制限が緩和され、中止・縮小さ

れてきた多くの行事が、もとの規

模で開催できるようになりました。

た。

榛東村子育連でも、スポーツレ

クリエーション大会や上毛かるた

大会といった行事が3年ぶりに開

催されました。今までの蓄積の少

ない中での運営となり、不安に思

うこともありました。しかし、本

部で知恵を出し合ったり、各育成

会長の力を借りたりすることで、

無事に実施することができました。

多くの児童や指導者に参加してい

ただき、皆さんが楽しんでいる姿

が見られたことが大きな喜びで

す。

今後も魅力ある行事を計画・実

施し、活動を充実させていきたい

と考えています。



コロナ禍を経て

下仁田町子ども会育成団体連絡協議会

会長 神保 守

下仁田町は人口6千人ほどの小さな町です。以前は2万強の人口でしたが、年々人口減少し現在に至っています。小学校（分校含め）は9校ありましたが、現在は1校のみです。妙義山、荒船山等9つの峰に囲まれた静かな町で、産業は上毛かるたの「ねぎとこんにゃく下仁田名産」の地です。

子ども会は町内5地区で成り立ち、伝統行事参加、各子ども会での6年生を送る会、日帰り行事、キャンプ、かるた大会への参加、練習会などを実施してきました。近年はコロナ禍で思うような活動が出来ず、今年度4年ぶりの町かるた大会が開かれました。数年に及ぶ行動制限による行事中止の中、かるたの取組も思うように出来ず、参加人数も減少してしまい、できる限りの開催となりました。練習も週1回1時間、学校の放課後に

空き教室で合同練習を行い、楽しく大会が開かれました。

子どもたちの減少で子ども会存続が危ぶまれますが、今後も楽しい子ども会活動に努力してまいります。



第75回上毛かるた競技県大会開催

上毛かるた競技の県大会が、単位子ども会、地区、郡市の大会を勝ち上がってきた団体・個人によって、去る2月12日、ALSOKぐんま武道館で行われました。

コロナ禍により4年ぶりの通常の形での開催となりましたが、多数の選手に参加していただき盛大に行うことができました。

開催にあたりご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。



参加選手



第75回 「上毛かるた」 競技県大会成績一覧

● 小学校低学年の部

団体

順位	郡市名	子ども会名	選手名1	学年	選手名2	学年	選手名3	学年	選手名4	学年
優勝	藤岡市	宮本町子ども会	池田純之助	4	芝崎 光汰	4	蜂須賀悠真	4	池田悠之助	2
準優勝	吾妻郡	原町子ども会	竹淵 愛音	4	小池かごめ	4	熊本 茜音	4	新井 柑夏	4
3位	富岡市	七日市黒川地区子ども会	包 阿吉奈	4	戸塚 喬太	4	原田 祐志	4	平井 陸斗	4
4位	高崎市A	菅谷子ども会	須田 紗彩	3	大森 香歩	4	山川 優美	4	前川 美涼	4
5位	太田市	大館安養寺子ども会	阪上 藍子	4	荒井 蘭	4	矢島 環	3	茂木 凌哉	4
6位	前橋市A	大手町二丁目子ども会	高瀬 陸	4	瀧 絢斗	4	島田 弦	4	檜崎 羽菜	2

個人

順位	郡市名	子ども会名	選手名	学年
優勝	吾妻郡	原町子ども会	黒岩 亮博	4
準優勝	伊勢崎市	境采女地区子ども会	田畑 七緒	4
3位	高崎市A	福島子ども会	馬場 美潤	4
4位	富岡市	富岡地区子ども会	宮下 陽愛	4
5位	桐生市	梅田子ども会	横塚 匠望	4
6位	渋川市	坂下町子ども会	田中 千大	3

● 小学校高学年の部

団体

順位	郡市名	子ども会名	選手名1	学年	選手名2	学年	選手名3	学年	選手名4	学年
優勝	高崎市B	菅谷子ども会	塩野 珠希	5	樋口 莉萌	6	武井 葵	6		
準優勝	高崎市A	中泉子ども会	荻野 希幸	6	細川 愛莉	6	小林 千紘	6	藤塚彩由愛	5
3位	館林市	緑町一丁目子ども会	大隈 蓮翔	6	小久保芽依	5	香山 翔	5		
4位	藤岡市	宮本町子ども会	高橋 穂孝	6	大倉 圭司	6	澤入 芽生	6		
5位	吾妻郡	東地区子ども会	石関あかり	5	神邊 理子	5	小野 愛奈	5	大塚 捺喜	5
6位	渋川市	下郷子ども会	品田 夏奈	6	鈴木ゆずゆ	6	荒井 紗英	6	細野 心結	6

個人

順位	郡市名	子ども会名	選手名	学年
優勝	伊勢崎市	宮子町子ども会	猪熊 咲来	6
準優勝	吾妻郡	原町子ども会	角田まなみ	6
3位	桐生市	川内子ども会	水戸部蘭香	6
4位	みどり市	笠懸6区子ども会	菅野 結愛	6
5位	前橋市B	紅雲町二丁目子ども会	田村 孝英	5
6位	沼田市	東原新町子ども会	本多 柚葉	6

● 中学校の部

団体

順位	郡市名	子ども会名	選手名1	学年	選手名2	学年	選手名3	学年	選手名4	学年
優勝	高崎市A	中泉子ども会	藤塚愛夕理	2	横山 桃子	2	青木 美桜	2		
準優勝	沼田市	高橋場町子ども会	松井 貴聖	2	富澤 柚月	2	中須賀友希乃	2	金丸 夏穂	1
3位	吾妻郡	原町子ども会	小池 凜	3	篠原 倅菜	2	渡 悠乃	2	森尾 茉侖	2
4位	藤岡市	仲町子ども会	原 聡一郎	2	高橋 莉子	2	田島 颯土	2		
5位	利根郡	赤城高原子ども会	角田 翠	2	角田心々夢	2	戸丸 凜歩	2		
6位	桐生市	南子ども会	星野 永愛	2	松島 詩	2	初山 瑠依	2		

個人

順位	郡市名	子ども会名	選手名	学年
優勝	館林市	緑町一丁目子ども会	栗原 彩姫	3
準優勝	桐生市	西子ども会	矢野 菜菜	3
3位	富岡市	七日市黒川地区子ども会	小林 彩羽	2
4位	吾妻郡	原町子ども会	西巻沙友里	3
5位	邑楽郡	上横町子ども会	関口 友惟	2
6位	高崎市A	中泉子ども会	市川 怜美	2

令和6年度の主な行事

- **子ども会安全啓発（KYT含む）
初級指導者養成講習会**
期日 令和6年5月26日（日）
会場 群馬県青少年会館
- **子ども会指導者認定講習会（中級）**
期日 令和6年10月26日（土）
令和6年11月30日（土）
会場 群馬県青少年会館
- **定時総会**
期日 令和6年5月30日（木）
会場 群馬県青少年会館
- **群馬県子連表彰式
子ども会郷土芸能伝承発表会
第30回子ども会活動体験作文表彰**
期日 令和6年11月9日（土）
会場 群馬県青少年会館
- **県子連
ジュニアリーダー研修会**
期日 令和6年7月14日（日）～15日（月・祝日）
会場 東毛少年自然の家
- **全国子ども会育成中央会議・研究大会**
期日 令和6年11月16日（土）～18日（月）
会場 沖縄県那覇文化芸術劇場
- **関ブロ地区ジュニアリーダー研修会**
期日 令和6年8月17日（土）～19日（月）
会場 長野県佐久市 望月少年自然の家
- **関ブロ地区
子ども会安全啓発 中級指導者養成講習会**
期日 令和7年1月18日（土）～19日（日）
会場 オリピックセンター
- **群馬県子ども会育成関係者研究協議会**
期日 令和6年9月8日（日）
会場 東京都本所防災館
- **第76回上毛かるた競技県大会 抽選会**
期日 令和7年1月16日（木）
会場 群馬県青少年会館
- **第30回子ども会活動体験作文コンクール
審査会**
期日 令和6年9月25日（水）
会場 群馬県青少年会館
- **第76回上毛かるた競技県大会**
期日 令和7年2月9日（日）
会場 ALSOKぐんま武道館
- **上毛かるた審判・読み方講習会**
期日 令和6年10月5日（土）
会場 群馬県青少年会館
- **関ブロ地区子ども会育成研究協議会**
期日 令和6年10月20日（日）～21日（月）
会場 山梨県甲府市総合市民会館



編集後記

令和5年度は、コロナ禍の影響もなく皆様の協力をいただき、計画をした行事の全てが実施されました。

先の能登半島地震では、今なお多くの方々が無自由な生活を強いられています。現地の子どものことを思うと心が痛みます。一日も早い復興を願って止みません。

我々も普通であることのありがたさをかみしめながら、群馬の子ども達が子ども会活動の面白さ、必要性を感じ取れるように頑張っていきたいと思っています。（仁田）